

発行 車体発 18 第 136 号

2018 年 5 月 11 日

2017 年度 日本自動車車体工業会会員会社の車体生産実績について

2017 年度の当会会員会社の車体生産台数実績がまとまりましたのでお知らせいたします。

当会会員会社の車体生産台数実績は、2,263,845 台で前年度比 97.6% と 2 年連続で前年度割れとなった。このうち新車メーカーからの受託生産車である乗・商用小型等を除く当会特有の車体生産台数は、187,751 台で同 104.1% と 2 年連続で前年度超えとなった。車種別には、特種車、平ボデートラック、バン、トレーラが増加したが、特装車、大中型バスが減少した。

車種	台数 (台)	前年度比 (%)	前年度比動向
特装車 (* 1)	60,065	98.8	2015 年度以降 3 年連続のマイナス
特種車 (* 2)	12,438	106.9	2015 年度以来 2 年ぶりのプラス
平ボデートラック	15,435	102.6	2014 年度以来 3 年ぶりのプラス
バン	87,084	108.5	2012 年度以降 6 年連続のプラス
トレーラ	8,487	110.5	2013 年度以降 5 年連続のプラス
大中型バス	4,242	85.6	2014 年度以来 3 年ぶりのマイナス
当会特有車	187,751	104.1	2016 年度以降 2 年連続のプラス
シャシメーカー標準荷台トラック	14,939	92.9	2015 年度以降 3 年連続のマイナス
コミューター・マイクロバス	82,562	86.4	2015 年度以降 3 年連続のマイナス
乗・商用小型、軽	1,978,593	97.6	2014 年度以来 3 年ぶりのマイナス
合計	2,263,845	97.6	2016 年度以降 2 年連続のマイナス

* 1 特装車：ダンプ車、トラックミキサ車、塵芥車 等

* 2 特種車：車いす移動車、警察車、医療防疫車 等

詳細については、当会ホームページを参照願います。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 瓜谷 (うりや)